

流山稲門会会報

2002.12.24 発刊

第001号(創刊号)

編集者：流山稲門会

分科会続々開催

七月の設立総会以来賓を含め百二十名の校友を集め賑やかに開催されたが当日参加出来なかった校友も参加して各地区で分科会が行われた。

分科会は各地区とも総会に劣らぬ盛り上がりを見せ、来年二月二十三日(日)の第二回総会を楽しみにしつつ散会した。

★分科会開催日

九月十四日 前ヶ崎地区

九月二十一日 向小金地区

九月二十八日 長崎、野々下地区

九月二十九日 松ヶ丘、名都借地区

十月六日 駒木台 美田 十太夫地区

十月二十日 深井 江戸川台地区

十一月十六日 平和台地区

十二月六日 江戸川台地区

右下の写真は松ヶ丘公民館における分科会開催時の写真です



流山稲門会の応援で優勝

平成十四年十一月二日我が早稲田大学は宿敵慶応大学を撃破し東京六大学野球春秋連覇の偉業を達成した。連覇は一九九一年の慶応以来十一年ぶり、早稲田としては一九五〇年以来五十一年



ぶりである。試合はエース和田が制球難に苦しみ、8回まで同点のなか流山稲門会の応援激励により一年生竹内の二ランホームランで押し切り、9回和田がぴしゃりと押さえ四対二で優勝を決めた。

翌3日も田中の満塁ホームランなどで九対二で勝ち点五とした、和田は9回に登場2三振を奪取し記録を476個と積み上げた。松ヶ丘の校友西川氏達六名が創立された『早稲田スポーツ』新聞も健在であり一部100円にて飛ぶような売れ行きであった。又チアリーダーイングも華やかさを増し、花をそえる姿は今昔の感がみられた。

早稲田祭復活

運営方法をめぐり中断していた早稲田祭が6年ぶりに復活十一月二、三日に開催されました。チンドン屋サークルなど話題性の高い300に及ぶサークルが参加した。流山稲門会校友も来年は訪ねてみてはいかがでしょう。

二十一世紀プログラム

我等が早稲田大学は、「世界的研究教育拠点形成の為に重点的支援二十一世紀COEプログラム」に申請を行ない、慶応大学と同じ5件の研究教育拠点について選定された。

- (一) 化学・材料科学実践的ナノ化学教育研究プロダクティブICTアカデミアプログラム
- (二) 情報・電気・電子プロダクティブICTアカデミアプログラム
- (三) 人文科学演劇の総合的研究と演劇学の確立
- (四) 人文科学アジア地域文化エンハンスング研究センター
- (五) 学際・複合・新領域現代アジア学の創生

(大学ホームページより転載)

建学精神を確認

ともすると忘れてしまう建学の精神を創刊号で確認してみたいと思う。

早稲田大学教旨

早稲田大学は学問の活用を本旨と為すを以て学理を学理として研究すると共に之を實際に応用するの道を講し以て時世の進運に資せん事を期す。

早稲田大学は模範国民の造就を本旨と為すを以て個性を尊重し身家を發達し 国家社会を利濟し併せて広く世界に活動す可き人格を養成せん事を期す。

学問の独立

「学問の独立」は、「在野精神」「反骨の精神」と結び合います。早稲田大学は、自主独立の精神を持つ近代国民の養成を理想として、権力や時勢に左右されない、科学的な教育・研究を行ってまいりました。

学問の活用

もちろん、近代国家をめざす日本にとって、学問は現実に活かしようのあること、日本の近代化に貢献するものであることが求められました。つまり「学問の活用」です。安易な実用主義ではなく「進取の精神」として、早

稲田大学の大きな柱の一つになりました。模範国民の造就庶民の教育を主眼として創設された早稲田大学。

その3つめの建学の理念が「模範国民の造就」です。グローバリゼーションが進展する現代、豊かな人間性を持った「世界市民の育成」と言い換えることができるでしょう。建学の理念とそこから生まれ受け継がれてきた早稲田スピリットは、私たちの財産。早稲田人がひとしく身につける校風です。
(大学ホームページより転載)



流山稲門会 役員氏名 連絡先

会長	西川誠之 (向小金)	1964 卒	商学部	
	0000000000			
副会長	松田展夫 (十太夫)	1963 卒	文学部 独文	
	0000000000			
同	詫摩太郎 (美原)	1966 卒	理工学部 電気	0000000000
幹事長	鈴木一嘉 (野々下)	1965 卒	商学部	
	0000000000			
副幹事長	水上春男 (東深井)	1969 卒	理工学部 応化	
	0000000000			
同	千葉道生 (東初石)	1971 卒	教育学部 社会	
	0000000000			
同	笠井敏晴 (名都借)	1972 卒	教育学部	
	0000000000			
会計	広田利充 (南流山)	1984 卒	商学部	
	0000000000			

ゴルフ同好会より

第三回千葉県下稲門会親睦ゴルフ大会
が開催されます。

月日： 三月十八日 火曜日

場所： 京葉カントリー倶楽部

電話： 〇四三―二二八―一五三二

費用： 一万九千円

流山稲門会より二組以上参加予定です、
ぜひ申し込みをお待ちしております。

連絡先 松岡 〇七〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇



登山同好会より

登山同好会は向小金地区の懇親会席上
で提案され発足…人生一回は富士山へ
登ろう…から始まりました。

《富士登山計画》

月日二〇〇三年九月五〜六日(土、日)

雨天順延 九月十二〜十三日(土、日)

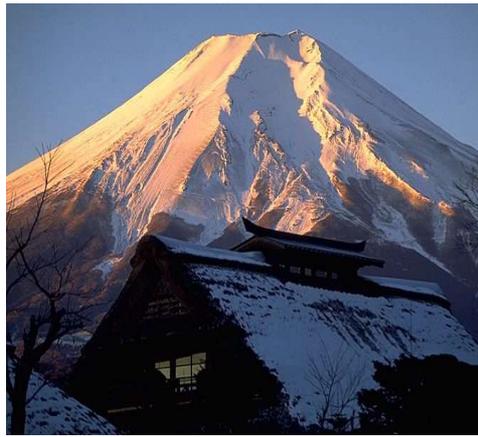
募集定員…20名以内…事前に軽い

ハイキングと適応力をチェック。

インストラクター・高森茂氏(六十二年
理工応化卒)計画詳細は別途参加者
にご連絡いたします、早めに応募して
ください、定員になり次第締め切りま
す。

連絡先 高森 〇七〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

E-mail : sakura@open.ocn.jp



早稲田地ビール登場

早稲田大学周辺商店連合会が9月9日



に早稲田地ビールを発売した、味はピ

ルスナータイプで一本280円である。
ビンの色は当然早稲田カラーの小豆色
で初回出荷は1400本である。お早
いうちのお買い求めをお勧めする。

流山散策同好会より

古きより、風光明媚の地と謳われた流



山も常磐新線開発工事の開始と共に周
辺が変身し始めました。今まではあま
り関心を払わなかった周辺の状況や未
だにしっかりと残されている見過ごせ
ない流山の遺産を探求・散策する歩
く同好会です。

参加自由・最寄りの電車站・バスの停
留所に集合しスタート。

道案内兼連絡係 漆野達夫(六十七年
法) 〇七〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

E-mail : usak@kaiyaku.com

アシスタント 梅沢 登(四十八年専門)

ラーメン同好会より

東葛地域で美味しいラーメン店の情報
を交換しませんか、広く麺類として考
えています(つまり美味しい蕎麦屋やウ
ドン屋も大歓迎です)。

柏、松戸、我孫子の稲門会にも声をか
けたいと考えています。松戸に幅広麵
のラーメン屋(まるできしめんみたい)
が十月に開店したそうですが食べた方
おられますか。平和台の《中島》チャ
シューがもう少し厚ければ合格ですね、
私の薦めるのは独特な味の《桂花》か
れこれ二十五年前でしょうか、熊本本
店までわざわざ食べにきました、さ
すがと思ったが、その時がっかりした
のは新宿にも二ヶ所支店があると聞か
されたことでした。
柏にできたと聞きさっそく食べに行き
ましたよ。

ラーメン情報は 笠井までメールで

E-mail 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇



流山稲門会設立にあたり

平成十二年十二月の校友会千葉支部総会にはじめて出席したが、流山の旗は見つからなかった。十三年度もやはり同じであった。千葉支部の千葉会長・角田幹事長から名簿人口千二百余名を数える流山が未だに稲門会結成に至っていないのは残念である、なんとかして欲しいと強く要望され、さらに奥嶋前総長からも同様の要請があった。その時流山から出席されていた校友の水・上・千葉・広田各氏の現役員に十二年度出席の松田さんを加えて準備委員会を発足させた次第です。

南北に長い流山を独断と偏見で百五十名平均で1区から8区まで区分けして、皆の電話作戦で更に8人各地区の担当役員をお願いし、名簿の確認から設立総会へと突き進んだわけです。早稲田マンは多士済々で、独自の人生観を貫いておられる方が多く、群れるのを嫌われる方も当然居られるわけですが、血気盛んな時は生きる事に無我夢中で過ごしてきて、何時か来た道を振り返ったときに同じ地域に同窓の方が居られると言う事が、人生を更に豊かにする可能性があるのではないかと、皆様に働きかけたわけです。若者は若者同

士、また女性ともども共有出来るものを模索し、たまには群れて「都の西北」を歌いましょうと言う会があってもいいでしょう。これから地元に着した共有出来るものを探して行きましょう。会則では「会員相互の親睦を図り、地域社会および早稲田大学の発展に寄与する」事を最大の目的にしています、具体的には

流山稲門会 会長 西川 誠之
1964年 商学部卒 (向小金在住)



① 今まで気付かなかった同じ地域内の「同窓生」の確認と「仲間意識」「連帯感」「家族ぐるみの交流」の発掘・醸成。

② 地域毎・年代毎・趣味を同じくする同好会・ライフワークの追求など色々染しめる要素をまとめる活動を助成。た

だしこの場合原則として参加費用は受益者負担。

③ 地域社会への連帯やボランティア活動・啓蒙活動を通じて地域社会への貢献。

④ 創立125周年を迎える母校・早稲田大学の発展に卒業生として可能な限りの寄与。

等などが当面の目的であり、皆で楽しめる会にして行きたい。(西川誠之)

流山稲門会への入会方法

むずかしい手続きなんてありません、会費も徴収しておりません。現在は設立総会参加費の一部を運営費(総会での承認事項)としております。

まずは近くの役員宅まで電話をかけてみて下さい。思わぬ出合いの窓口が広がりますよ、お待ちしております。

校友会千葉支部大会の報告

十二月七日千葉市幕張プリンスホテルにおいて本校校友会千葉支部大会が開催された、流山稲門会稲門会としては初めての参加であり、あいにくの小雨にもかかわらず県下四五〇名の会員が詰めかけた。

今回は新総長を迎えての初めての大会でありまず第一部として白井総長の講

演が十五時半から行われ、その後第二部の懇親会が行われた。広く県下の校友と顔を合わせる好機でありお互いに話が弾み、宴たけなわにはハイソのジャズ演奏や抽選会もあり盛り上がりを見せた。最後はやはり真打である応援団のリードにより【都の西北】を全員で合唱、その歌声は会場全体にこだました。



白井総長と流山稲門会会員

総会開催予告

第二回流山稲門会の総会を開催いたします、第一回総会に負けないイベントを企画いたしておりますので今回はスケジュールの合わなかった校友もぜひご参加ください。

日時：二月二十三日(日)

三時より七時まで

場所：さわやかちば県民プラザ